

# 本願寺帯広別院だより

〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL: 0155 (23) 3720  
FAX: 0155 (21) 4989 発行人: 輪番・石川勝紀

別院公式LINE



## 降誕会

宗祖親鸞聖人は平安末期の承安3(1173)年5月21日、京都でお生まれになりました。私たちは毎年、聖人のご誕生をお祝いする仏事として「降誕会」の法要をおつとめします。

別院の今年の降誕会は5月18日(日)におつとめします。

お寺というと、お祝いのイメージが少ないと思われる方がいるかもしれませんが

せん。でも、降誕会をはじめ、赤ちゃんが生まれて初めてお寺にお参りする初参式、結婚式など、お慶びの仏事もたくさんしています。

聖人のご誕生がなければ、私が浄土真宗のみ教えにであうこともなかったでしょう。ご誕生をお祝いするとともに、み教えにであえた喜びを感じられる降誕会に、皆さんどうぞお参りください。



### 4月のご案内

月例布教 1日(火)～2日(水)13時30分〈講堂〉  
春季永代経法要 13日(日)・14日(月)13時〈本堂〉  
宗祖月忌法要 15日(火)・16日(水)13時〈本堂〉  
13日～16日 布教使 東海教区員弁組常満寺 梅山 暁 師  
うめやまあきら

### 5月のご案内

月例布教 1日(木)～2日(金)13時30分〈講堂〉  
宗祖月忌法要 15日(木)・16日(金)13時〈本堂〉  
常例布教 13日(火)～16日(金)13時〈講堂・本堂〉  
15日～16日 布教使 熊本教区託麻組良覚寺 吉村 隆真 師  
よしむらりゅうしん  
降誕会 18日(日)10時〈本堂〉  
みずのまさゆき  
布教使 北海道教区釧路組常龍寺 水野 正幸 師

令和6年能登半島地震により被災された皆さまに  
衷心よりお見舞い申しあげます



新一年生全員で記念撮影

# 別院仏教 婦人会主催 新一年生お祝い会を開催

おめでとう

別院の仏教婦人会主催「新一年生お祝い会」は20年以上行われています。懐かしく思い出される方もおられることでしょう。新型コロナにより開催できない年もありましたが、今年は3月22日(土) 13時に無事開催することができました。

4月から小学校に入学する新一年生は21名、ご家族は42名、幼稚園・



緊張ぎみに入場する  
新一年生の皆さん

はれやかに

保育園の関係者もともに本堂にお参りされました。

新一年生はいくぶん緊張した面持ちで列をなし、高橋利子仏婦会会長を先頭に本堂に入場しました。

まず、仏さまに手を合わせました。高橋会長が1人ずつにお祝いの言葉をかけ記念品を渡す頃には、子どもたちは笑顔になっていました。



高橋会長から、お祝いの言葉と記念品の授与

続いて大谷短期大学の人形劇サークル「ありんこ」による人形劇を見ました。よく知っているキャラクターの登場に、子どもたちは大喜び。最後まで楽しそうに見ていました。

最後は全員で輪投げ、しっぽ取りのゲームをし、大いに盛り上がりました。終了後、記念撮影を行い、解散となりました。

帰り際、一人の女の子が職員に、「今日はありがとうございました。また



みんなでゲームをたのしむ

(お参りに) 来ます」と言ってくれました。

大谷短大のサークル「ありんこ」による人形劇を夢中で見る





ご法話



出遇いと別れの季節

文：伊澤裕真

春は新しい出来事や人に出遇う季節です。生活の変化や別れの季節でもあります。私たちは出遇いと別れを繰り返して生きています。出遇い、そしていずれは別れねばならないのちを生きています。仏教ではこれを「無常」といいます。いつでも同じものはなく、たえず変化しています。しかし私たちは執着します。無常と執着によって私たちは苦悩するのです。大切な方と別れたくないと思っても、別れねばならないから苦悩が湧いてくるのです。

蓮如上人のお手紙(御文章)の電光朝露草に、「まことに死せんときは、かねてたのみおきつる妻子も財宝も、わが身にはひとつもあひそふことあるべからず。されば死出の山路のすゑ、三塗の大河をばただひとりこそゆきなんずれ。これによりて、ただふかくねがふべきは後生なり、またたのむべきは弥陀如来なり、信心決定してまゐるべきは安養の浄土なりとおもふべきなり」とあります。現代語にすると、「いのちを終えていく時は、頼みにしていた妻も財産も何一つともに来てはくれず、三途の大河をたった一人で渡るのです。だからこそ後生を願うことが大事で、頼むべきは阿弥陀さまです。信心できる身となって、参る先はお浄土なのだを知るべきなのです」と示されています。私たちは人生で大切な方との出遇いと別れを経験します。その別れを苦悩のままに終わらせない方がいらっしやいます。それが阿弥陀さまです。すべてのいのちを仏とならせて浄土に生まれさせ、再び会わせてくださるのです。

4月 オススメの一冊



『蓮如上人御一代記聞書』

(現代語版)

浄土真宗教学研究所浄土真宗聖典編纂委員会 編

本願寺出版社、B6判、275ページ

1320円(税込)

別院の電信通り沿いの掲示板に、「仏法はいそげいそげ」と記されています。これは蓮如上人のお言葉で、「今日明日にもいのちは尽きるかもしれないのだから、とくに仏法のこと若いうちから心がけなければなりませんよ」という意味です。

本書には蓮如上人の多くのお言葉が、現代語で収録されています。ぜひともお読みいただき、お気に入りの一言に出あってください。別院の月例布教や、常例布教のご縁にも「いそげいそげ」で出あってみませんか。(松原)

永代経懇志ご進納

(ご進納日 2月15日～3月14日)

## 春季彼岸会



春季彼岸には浄華堂に多くの方がお参りされました。コロナウイルスが猛威を振るっていた頃は少人数でのお参りでしたが、今年は、十勝管外からもご家族が参られたり、大勢で手を合わされたりしていました。ご参拝の方から、「みんなで参りができて安心しました」、「皆でお参りして、それから十勝のおいしいものを食べに行く恒例行事が戻ってきました」などの声が聞かれました。



## 別院からのお願い

門徒名簿・浄華堂管理の代表者の方が転居されたり、また名義変更が必要になった場合は、寺務所まですみやかにご連絡ください。

## 別院からのご案内

ご法事の際には、別院会館(照真閣)をご利用ください。会館には「書院」



書院  
(約35名まで 和室)



三の間  
(約20名まで 椅子式)



(写真上)、「三の間」(写真下)をはじめ、大きさ・タイプの異なる会所が5つあります。ご法事は2か月前までにお申し込みください。

自他ともにたいせつな言葉紹介 **人我兼利**じんがけり

## 少欲知足

しょうよくちそく

辞書を見ると、「少欲」は多くを求め

ないこと。「知足」は手に入れた物で

満足を知ること。また、「欲少なくして、

足るを知る」と読み下す、とあります。

◆『無量寿経』には、小欲知足

であれば、むさぼり・怒り・愚かさ

から離れるとあります。しかし仏さ

まは、「田あれば田に憂へ、宅あれば

宅に憂ふ」「田なければ、また憂へて

田あらんことを欲ふ。宅なければま

た憂へて宅あらんことを欲ふ」(『聖

典』注釈版54・55頁)とも説かれます。

人は財産がないから求めるだけでは

なく、どれだけたくさんあっても満

足はできないということです。◆私

たちには、もつともつとと願う性質

があります。一度立ち止まり、ある

ものに感謝し、本当に自分に必要な

ものか考えてみませんか。(桐林)